

# 野生鳥獣肉の放射性物質検査結果

群馬県環境森林部自然環境課

## 1 野生鳥獣肉の放射性物質検査

群馬県では、平成23年3月の福島第一原子力発電所の事故発生以降、野生鳥獣肉の放射性物質検査を796検体実施(平成27年12月18日現在)しています。検体の中には、現在の食肉の基準値である100Bq/kgを上回るものがあり、ツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカ及びヤマドリにおいては、群馬県全域において出荷制限がかかっています。

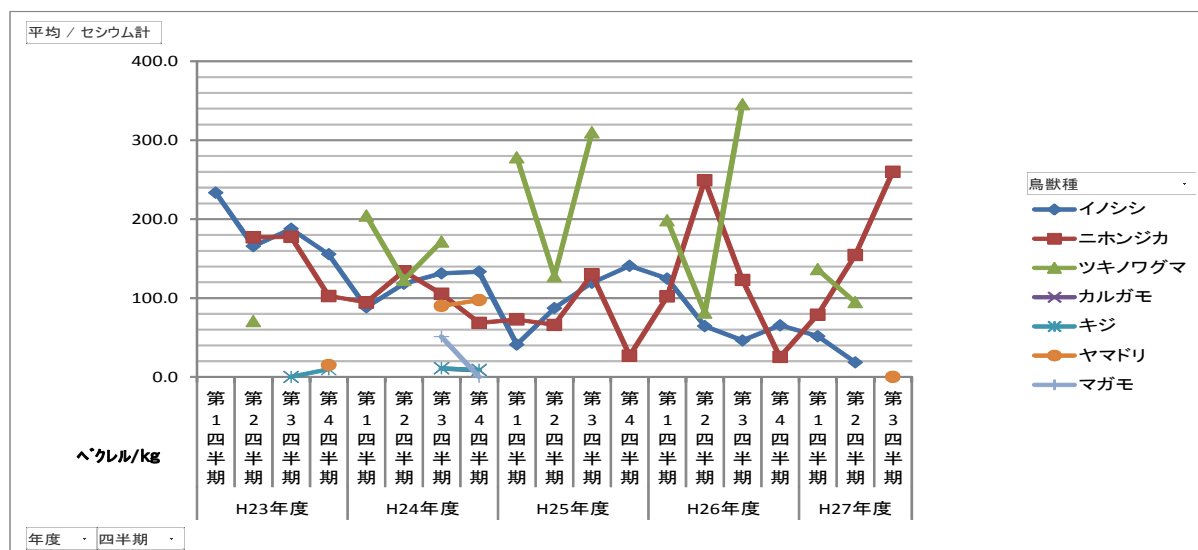
野生鳥獣肉の放射性物質検査結果(平成23年9月～平成27年12月)

鳥獣種	検査数	100Bq/kg超	100Bq/kg超比率
ツキノワグマ	208	101	48.6%
イノシシ	206	82	39.8%
ニホンジカ	339	116	34.2%
ヤマドリ	12	4	33.3%
キジ	25	0	0.0%
カルガモ	4	0	0.0%
マガモ	2	0	0.0%
総計	796	303	38.1%

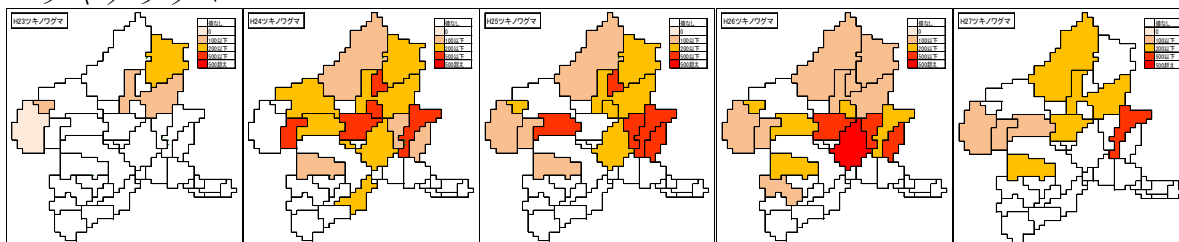
## 2 結果の推移

平成23年度から平成27年度(平成27年12月18日現在)の検査結果の推移を示しました(本グラフでは、各鳥獣種の捕獲年月日を基準に、集計した各検査結果データを四半期ごとにまとめて表示しています。)

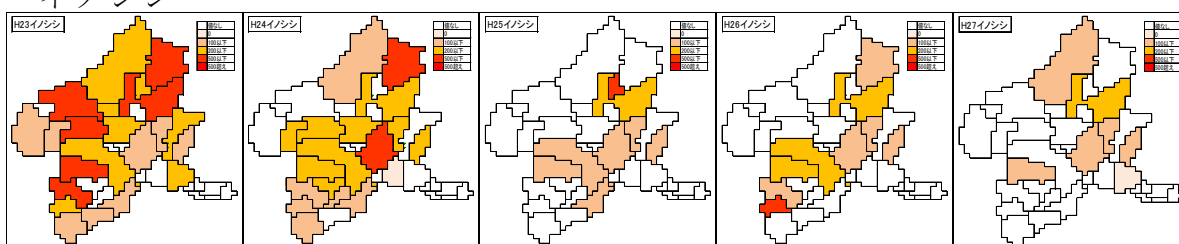
検査を実施するにあたっては、捕獲が行われない限り検体が確保できないため、地域的・時期的なバラツキが発生しています。これらを十分に考慮して分析を行うには検査数がまだ十分とはいえないことから、今後も継続して検査を行う必要があると考えられます。



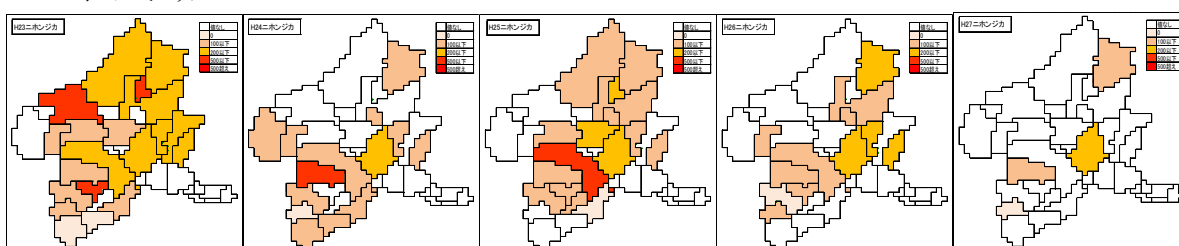
・ツキノワグマ



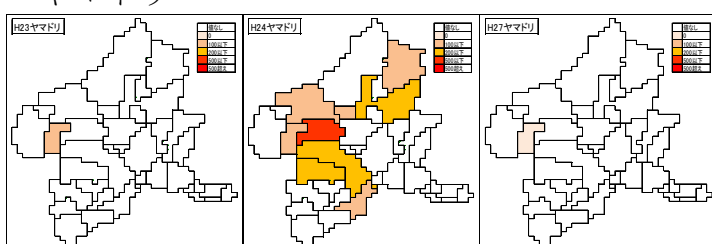
・イノシシ



・ニホンジカ



・ヤマドリ



■ 凡例 ■

値なし
0
100以下
200以下
500以下
500超え

(単位はベクレル/kg)

最後になりましたが、放射性物質検査の検体提供にあたっては、県内各市町村及び猟友会等捕獲を行っていただいた方々には多大なる御協力をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。